

2016年度 大阪信愛女学院中学高等学校 学校自己評価

長期的重点テーマ	命を育む女子教育
2016年度の重点テーマ	生徒の為に、生徒と共に
今年度の重点目標	本校で学ぶ生徒の「心の成長」と「学力の向上」つまり、人間力のアップを目指し、「改革そして前進」をスローガンに具体的、実践的な努力を続ける。生徒にはそれぞれの教師が「声をかけ、目をかけ、手塩にかける」ことを日々実践していく。保護者との連帯を強め、学校の取り組みに対するご理解と支援を強力に推進していく。

下記のそれぞれの評価項目について、A～Dの評価のうちいずれか1つを教えてください。

		A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない							
学校運営	私学の独自性	1	建学の精神について	建学の精神が教職員、生徒・保護者など、学校関係者などによく浸透している。	A	B	C	D	
		2	愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りや愛着を持っている。	A	B	C	D	
		3	カトリックの教えに基づく教育	宗教に基づく教育に対する生徒・保護者の理解がある。	A	B	C	D	
		4	家庭との連携	学校に対する保護者の期待・要望を把握している。	A	B	C	D	
	教育課程	5	教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。	A	B	C	D	
		6	教育課程の見直し	コース・類型に応じた見直しを行っている。	A	B	C	D	
	教員間連携	7	教員・教科間連携状況	教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	A	B	C	D	
		8	会議の有効性	会議の内容の精選と検討事項の事前での伝達を行っている。	A	B	C	D	
	財務関係	9	財務に関する意識と財務状況	学校の経営指標と財務状況について理解し、予算・決算の状況について把握している。	A	B	C	D	
		情報公開	10	ホームページの活用状況	学校のホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	A	B	C	D
			11	授業公開状況	保護者などへ授業を公開している。	A	B	C	D
	危機管理	12	役割分担について	事故・事件・災害等に対処する役割分担や、備蓄・設備の状況を把握している。	A	B	C	D	
		13	危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察・消防との連携、訓練などの安全対策は十分にとられている。	A	B	C	D	
	開かれた学校づくり	14	地域交流について	地域住民との交流が行われ、地域行事への参加が盛んである。	A	B	C	D	
学校運営	広報活動	15	校内説明会	説明会参加者に好印象を与えるような企画・運営をしている。	A	B	C	D	
		16	中学校・塾訪問	中学校・塾への訪問が十分であり、新規開拓にも努めている。	A	B	C	D	
		17	データの活用	各分掌の情報を集約し、適切に活用している。	A	B	C	D	

教育内容	カトリック教育	18	心の教育	朝礼・終礼の実施、宗教行事、宗教の授業を通して心の教育を行っている。	A	B	C	D
	人権教育	19	研修の機会	人権教育に関するさまざまな課題や指導方法を教員が 研修する機会がある 。	A	B	C	D
		20	教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で意識を高める教育を行っている。	A	B	C	D
		21	いじめ防止対策	生徒の日常の変化を教員間で共有し、いじめの早期発見、防止に努めている。	A	B	C	D
		22	障がい者 支援	障がい者に対する支援を行っている。	A	B	C	D
	情報教育	23	情報能力育成	生徒の情報活用能力の育成を図っている。	A	B	C	D
		24	情報のモラル育成	情報の発信に伴う責任など、情報のモラル向上のための教育を行っている。	A	B	C	D
	環境教育	25	環境問題意識向上	ゴミ・リサイクル・省エネなど身近な問題から環境への関心を高める ようにしている 。	A	B	C	D
		26	実践的態度の育成	生徒に清掃・校内美化に取り組ませている。また施設・設備を大切に する心を育成している 。	A	B	C	D
	教科指導	27	理解度の把握	個々の生徒の学力理解度を把握し、それに 応じた指導 ができています。	A	B	C	D
		28	能力の伸長	コース別・ 選択 授業など、個々の生徒の能力を伸ばすための体制ができています。	A	B	C	D
		29	教育機器の利用	教育機器を十分に活用している、	A	B	C	D
		30	模試などの分析活用	模試結果を共有し、学力向上に役立たせています。	A	B	C	D
	キャリア教育	31	キャリア教育の推進	中学1年から高校3年まで、6年間を通して、組織的・系統的にキャリア教育を取り入れている 。	A	B	C	D
		311	進路指導	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に 応じた進路選択 ができるような指導体制がある。	A	B	C	D
		312		併設短大や協定校との連携が 整い、適切な進路指導 が行われている。	A	B	C	D
	学校行事	32	スポーツ活動	体育大会・球技大会などのスポーツに関する学校行事は 盛ん である。	A	B	C	D
		33	文化・芸術活動	文化祭、芸術鑑賞などの 文化・芸術活動に関する学校行事は盛ん である。	A	B	C	D
		331	校外学習	遠足・修学旅行・自然体験などの行事が充実 している。	A	B	C	D
	国際教育	34	国際理解の推進	海外研修や 姉妹校交流 を含め、他国の歴史の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を行っている。	A	B	C	D
特別活動	35	部活動	部活動は 活発 である。	A	B	C	D	
	36	生徒会活動	生徒会活動や委員会活動を通して、生徒が主体的に活動できる体制が 整っている 。	A	B	C	D	
その他	37	図書館の利用推進	読書や調べ学習 など、図書館の利用促進に取り組んでいる。	A	B	C	D	
その他	38	ボランティア	東北や熊本などの被災地支援を行い、困難に遭っている人々への関心を持ち、チャリティなどを含めた ボランティア活動を積極的 に行っている。	A	B	C	D	

生徒指導・生徒支援	生徒指導	39	指導方針の一貫性	学校の生徒指導は一貫した方針を持っており、かつ個々の生徒の状況に応じた指導が組織的に行われている。	A	B	C	D
	生徒支援	41	学習について	個々の生徒の実態に合わせた学習支援の方法の工夫・改善を行っている。	A	B	C	D
		42	教育相談	支援コーディネーターを配置し、支援の必要な生徒に対する情報を交換し、共有する体制がある。	A	B	C	D
		43		スクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者の支援に積極的に取り組んでいる。	A	B	C	D
		44	保健・衛生	体調不良・怪我等への対応は適切である。	A	B	C	D
45		保健室の機能は十分に果たされている。		A	B	C	D	
教員資質向上・研修	教員研修	46	教員の資質向上	教員間で授業内容を評価し、意見の交換などを行う機会がある。	A	B	C	D
		47	校内研修	身近なテーマの研修計画を立て、適宜、研修を行っている。	A	B	C	D
		48	初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員をサポートする体制がある。	A	B	C	D
		49	校外研修	教員が校外研修に参加できる体制が整っている。	A	B	C	D
		50	研修結果の共有	研修、研究に参加した成果を、教員間で共有する体制がある。	A	B	C	D
その他	事務室	51	接遇	事務室の保護者や来航者に対する対応が適切である。	A	B	C	D

特記すべき問題点	
具体的改善方策	